



# 第1回日本放射線医療技術学会の 演題募集について

2024年3月1日  
公益社団法人  
日本診療放射線技師会  
会長 上田 克彦

## おわびと訂正

会誌3月号会告において、内容の一部に変更が生じました。心よりおわび申し上げますとともに、以下の通り訂正させていただきます。

該当ページ	項目	旧	新
6ページ	4. 参加登録費	学生会員 2,000円 (学生証提示)	学生会員 2,000円 (不課税) (学生証提示)
6ページ	6-1 申込資格	<p>1) 演題登録に際しては、自身の会員資格、会費納入の履歴をご確認の上、<a href="#">JJRS</a>に登録してください。</p> <p>2) 演題登録は、<a href="#">JJRS</a>に登録した方のみ行うことができます (会員資格の有無は問いません)。</p>	<p>1) 演題登録に際しては、自身の会員資格、会費納入の履歴を<a href="#">JART情報システム (JART会員)</a>、または<a href="#">JSRT会員システム RacNe (JSRT会員)</a>でご確認ください。</p> <p>2) 演題登録は、「<a href="#">JART情報システム</a>」または「<a href="#">JSRT会員システム RacNe</a>」に登録した方のみ行うことができます (会員資格の有無は問いません)。</p>
7ページ	6-4 演題区分について 上の表 実践報告	日常の業務改善、放射線の安全管理、医療安全、勤怠管理などの詳細についてまとめたもの	日常の業務改善、放射線の安全管理、医療安全、勤怠管理、院内教育等について詳細をまとめたもの
11ページ	6-11 登録方法	※演題を登録される方は、事前に必ず、会員システム「 <a href="#">JJRS</a> 」にログインして所属、連絡先、メールアドレス等の必要事項を登録・確認してください。非会員の方も上記ページの「学会に入会せずにサイトを利用したい方」を選択の上、システムのユーザ登録をお願いします。演題登録システムは、 <a href="#">JJRS</a> を参照し演題発表者の氏名、所属、連絡先住所、メールアドレス等を確認しています。	※演題を登録される方は、事前に必ず、「 <a href="#">JART情報システム</a> 」または「 <a href="#">JSRT会員システム RacNe</a> 」にログインして所属、連絡先、メールアドレス等の必要事項を登録・確認してください。非会員の方も「 <a href="#">JSRT会員システム RacNe</a> 」の「学会に入会せずにサイトを利用したい方」を選択の上、システムのユーザ登録をお願いします。演題登録システムは、「 <a href="#">JART情報システム</a> 」または「 <a href="#">JSRT会員システム RacNe</a> 」を参照し演題発表者の氏名、所属、連絡先住所、メールアドレス等を確認しています。
12ページ	6-11 登録方法	16) 演題受領書は初回登録時に加え、修正時に電子メールで送信されます。万が一、演題受領書が届かない場合は入力したメールアドレスが正しいことを確認してください。メールアドレスの登録に関するお問い合わせは事務局にて賜ります (jcrtm2024@linkage-okinawa.co.jp)。なお、登録するメールアドレスは、応募者(発表者)が会員システム「 <a href="#">JJRS</a> 」に登録している個人のメールアドレスを入力してください。	16) 演題受領書は初回登録時に加え、修正時に電子メールで送信されます。万が一、演題受領書が届かない場合は入力したメールアドレスが正しいことを確認してください。メールアドレスの登録に関するお問い合わせは運営事務局にて賜ります (jcrtm2024@linkage-okinawa.co.jp)。なお、登録するメールアドレスは、応募者(発表者)が「 <a href="#">JART情報システム</a> 」または「 <a href="#">JSRT会員システム RacNe</a> 」に登録している個人のメールアドレスを入力してください。

※太字部分が訂正箇所です。



# 第1回日本放射線医療技術学術大会の 演題募集について

2024年3月1日  
公益社団法人  
日本診療放射線技師会  
会長 上田 克彦

## 募 集 要 項

### 1. 大会名

第1回日本放射線医療技術学術大会  
Japanese Congress of Radiological Technology in Medicine <略称：JCRTM2024>  
【併催】第40回日本診療放射線技師学術大会  
第52回日本放射線技術学会秋季学術大会

### 2. 会期

現地会期 2024年10月31日(木)～11月3日(日)  
ウェブ会期 2024年10月31日(木)～12月9日(月)

### 3. 会場(現地)

沖縄コンベンションセンター  
URL <https://www.oki-conven.jp>  
〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1  
TEL 098-898-3000

### 4. 参加登録費

会 員 15,000円(不課税)※事前参加登録による割引はありません。  
非 会 員 30,000円(税込み)  
学生会員 2,000円(不課税)(学生証提示)  
学生非会員 3,000円(税込み)(学生証提示)

※参加登録は日本診療放射線技師会・日本放射線技術学会合同学術大会登録受付システム(JJRS)より行ってください。参加登録は事前登録のみです。

### 5. 発表形式

- 5-1 日本語口述発表(研究、報告)、日本語ポスター発表
- 5-2 全てのスライドデータは、データ(USBメモリ)での持込みを原則とします。発表の3時間前までに(1日目の午前のセッションでの発表者は当日の9時30分までに)会場に設置するPCセンターで登録してください。PCの持ち込みは特別な事情がない限り受け付けません。データは、PowerPoint(Windows版ではMicrosoft office 2016以降のバージョン)で作成してください。
- 5-3 動画は使用可能ですが、Windows10もしくは11(OS)およびWindows Media Player 9以上の初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画ファイルをお持ちください。WMV形式の動画ファイルを推奨します。
- 5-4 スライドサイズは**16:9**を推奨します。
- 5-5 開催後のオンデマンド用の発表データは、現地会場での口述発表を録画し、オンデマンドサイトにアップする予定です。

### 6. 演題募集について

#### 6-1 申込資格

現地会場で発表される方に限ります(Web発表は予定していません)。発表者(演者)に会員資格の有無は問いません。ただし、会員であっても2024年度分までの会費を完納されていない場合は非会員での参加登録となります。

- 1) 演題登録に際しては、自身の会員資格、会費納入の履歴をJART情報システム(JART会員)、またはJSRT会員システムRacNe(JSRT会員)でご確認ください。
- 2) 演題登録は、「JART情報システム」または「JSRT会員システムRacNe」に登録した方のみ行うことができます(会員資格の有無は問いません)。
- 3) 本大会はオンデマンド配信を予定しています。演題の申し込みに際しては、オンデマンド配信への承諾が必要です。

#### 6-2 募集期間

2024年4月16日(火)正午～5月17日(金)正午まで



### 6-3 共同研究者

応募時に登録できる共同研究者は7名以内（発表者を含め8名）です。発表時はこの限りではありません。共同研究者は演者が発表できない場合に発表の責務を負います。

※ 演題の取下げには、応募者および共同研究者のペナルティを以て対応します。以降のご発表をお断りする場合もございますのでご注意ください。

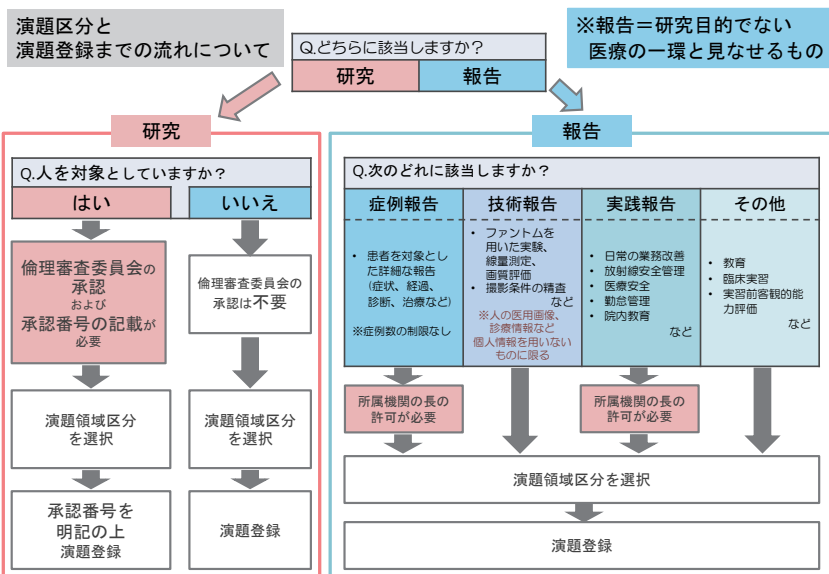
### 6-4 演題区分について

研究、および報告の演題区分があります。

- 1) 研究：人を対象とした研究、人を対象としない研究
- 2) 報告：症例報告、技術報告、実践報告、その他報告

#### 【演題区分の詳細】

研究	人を対象とした研究	倫理審査委員会の承認が <b>必要</b>
	人を対象としない研究	倫理審査委員会の承認は <b>不要</b>
報告	症例報告	個々の患者についての詳細な報告であり、症状、経過、診断、治療などの詳細についてまとめたもの（ただし症例数については定義しない） 施設のルールに従って <b>所属機関の長の許可が必要</b>
	技術報告	ファントムを用いた実験、線量測定、画質評価、撮影条件の横断調査など、データ取得過程も含め、人の個人情報、医用画像や診療情報を用いず、主に物理的な事実を検証し、その理解を広めることを目的としたもの
	実践報告	日常の業務改善、放射線の安全管理、医療安全、勤怠管理、院内教育等について詳細をまとめたもの 施設のルールに従って <b>所属機関の長の許可が必要</b>
	その他	教育、臨床実習、実習前客観的能力試験など、その他教育等についての詳細をまとめたもの





#### 6-5 抄録について

演題登録システムに入力する内容は演題審査に使用するだけでなく予稿集の掲載内容としても利用します。抄録本文には必ず【目的】、【方法】、【結果】の項に分け入力してください。【目的】、【方法】、【結果】の記載がない場合には演題審査の評価が低くなります。また、誤字や脱字等についても十分に確認してください。詳細は、「6-11 登録方法」を参照してください。

#### 6-6 研究および報告で求められる倫理について

本大会で発表される全ての演題は、あらゆる場合において研究対象者の生命、健康、プライバシーおよび尊厳に配慮されなければなりません。応募時には、この考えのもと演題区分を確認してください。倫理審査委員会の承認を得て行う「人を対象とした研究（研究）」、あるいは「医療の一環としての報告（報告）」のいずれに該当するかにより、求められる倫理的配慮は異なります。

##### 1) 研究

研究を開始する前に日本放射線技術学会の「研究倫理規程ガイダンス」を確認してください。医学研究で求められる倫理的配慮について理解し、必要に応じて倫理審査委員会で事前承認を得てください。演題登録システムでは、「応募演題の倫理に関する質問」への回答を以てその適正を確認します。臨床データ（画像データ、検査結果、診断名、個人情報を含む）を用いた研究のほとんどは倫理審査委員会の承認を要する研究です。また、アンケート調査や観察者実験もその目的や手法によっては倫理審査委員会の承認を要します。

研究倫理規程ガイダンス (Ver.10.1)

(<https://www.jsrt.or.jp/data/pdf/etc/guideline-rinri.pdf>)

研究の区分で応募された演題は、医学研究で求められる倫理的配慮についても審査します。倫理審査委員会の承認が必要であるにも関わらず応募の時点で承認を得られていない研究は、申請中であっても不採択とします。また、倫理審査委員会の承認を受けていても、演題審査で倫理的な配慮が不足していると判断する場合は不採択とします。演題登録システムには倫理承認番号の記載欄がありますので倫理審査委員会の承認を受けている場合には記載してください。なお、演題審査で倫理審査申請書の確認を要すると判断する場合には提示を求めることがあります。倫理審査委員会、あるいはその事務局等において倫理審査は不要と判断されている場合は、その返答書面等を代替とします。

##### 2) 報告

日常の業務改善や症例報告、人を対象としないファントム実験を通じた業務評価などを「報告」として取り扱います。また、研究目的でない医療の一環と見なせる「症例報告」・「実践報告」は所属機関の長の許可を得て演題登録してください。ただし、演題審査で研究に該当すると判断した場合、あるいは医療の一環と見なすことができない「研究を目的とする報告」については応募者（発表者）の選択に拠らず「研究」として審査を行います。

#### 6-7 倫理申告ガイドについて（研究で応募される方）

演題登録を行う前に「倫理申告ガイド」で応募予定の研究の申告カテゴリをご確認ください。設問Bで“承認を得ていない”を選択する場合には動画視聴を行ってください。動画中に表示されるパスワードを演題登録時に入力することで動画の視聴を確認します。

##### 応募演題の倫理承認について【重要】（必須）：

JCRTM2024における研究発表は、日本放射線技術学会（JSRT）が定める研究倫理規程に準拠し、あらゆる場合において、研究対象者の生命、健康、プライバシーおよび尊厳が守られていなければなりません。そのため、演題応募時には、以下に示す「応募演題の倫理に関する質問」に正しく回答していただく必要があります。演題応募者は、JSRTの「研究倫理規程ガイダンス」[<https://www.jsrt.or.jp/data/about/regulations/>]を熟読の上、応募演題に必要な倫理的対応について理解し、必要に応じて倫理審査委員会で事前に承認を得てください。特に研究対象者の臨床データ（画像データ、検査結果、診断名、個人情報を含む）を用いた研究では、ほとんどの場合において倫理承認が必要となりますので十分にご注意ください。また、アンケート調査や観察者実験（視覚評価）においては、倫理承認の要否に関する検討が必要になりますので、研究倫理規



程ガイダンスに従って対応をお願いします。

倫理承認が必要である演題が応募時に倫理承認を得ていない（申請中を含む）場合は、事前審査で不採択となります。また、倫理承認を受けている場合であっても、倫理的観点から明らかに倫理に反すると判断される場合は、不採択となることをご了承ください。なお、当該研究の倫理承認番号等は、演題登録時には記載する必要はありませんが、演題審査の段階で確認を要すると判断される場合は、倫理審査申請書と共に提出していただくことがあります。また、倫理審査委員会またはその事務局において倫理審査不要と判断された場合は、倫理審査委員会からの返答が確認できる書面、あるいはその旨を伝えてきたメールを保管しておいてください。同様に提出を求める場合があります。

### 「応募演題の倫理に関する質問」

**設問A：**応募演題における倫理承認についてお答えください。人を対象とした研究は全て倫理承認が必要です。

- ◎ 倫理審査委員会による承認を得た → 委員会の名称と承認番号を入力し設問Bへ
- ◎ 倫理審査委員会による承認を得ていない → 設問Dへ

**設問B：**応募演題における研究では、研究対象者に対し、研究を目的とした侵襲的な行為（放射線被ばく、肉体的・精神的苦痛を伴う行為、薬剤等の投与）を行っていますか。なお、MRIのボランティアによるスキャンを含む研究は“軽微な侵襲”のため、“侵襲的な行為を行っている。”を選択してください。また、医療の一環であれば、侵襲的な行為とは見なされないため、“侵襲的な行為は一切行っていない。”を選択してください。

- ◎ 侵襲的な行為を行っている → 設問Bへ
- ◎ 侵襲的な行為は一切行っていない（「医療の一環」を含む）

**設問C：**JSRTの研究倫理規程では、研究者は、研究対象者に対して、許容範囲を超える放射線被ばく、苦痛の範囲が社会的な許容範囲を超える肉体的・精神的苦痛を伴う行為、および医学的妥当性が認められない不必要な薬剤投与等の侵襲的な行為を行ってはならないとしています。なお、許容範囲などについては、倫理指針等の規則が定める倫理審査委員会等で判断するものとしますが、この判断が学術の観点（ICRP Publication 62などを参考）から正当な理由のもとに問題があると考えられる場合には、その審査結果を受けた対応が求められる場合があります。なお、研究対象者に対し侵襲的な行為を伴う場合は、次の3項目のそれぞれについて記載してください。

- 1) 医学的妥当性：医学の発展にとって、その研究が必要であることの妥当性
- 2) 方法的特殊性：研究対象者に対する侵襲的な行為以外に選択肢がない
- 3) 正確なインフォームド・コンセントの取得：倫理指針の定める項目を満たす他、侵襲行為に関わる被ばく線量や生物学的影響等の正確なデータを提示した上で、研究対象者から得られたものに限る

上記の3項目のそれぞれについて、以下に記述してください。

医学的妥当性：（自由記載、全角50文字以内）

方法的特殊性：（自由記載、全角50文字以内）

インフォームド・コンセントの内容：（自由記載、全角50文字以内）

**設問D：**応募演題が倫理審査委員会の承認を得ていない理由をお答えください。

- ◎ 倫理審査委員会に承認申請したが、倫理審査不要と判断された。
- ◎ 応募演題は、JSRTの研究倫理規程ガイダンスにおいて定義される技術研究に該当し、観察者実験（視覚評価）も本研究に含まれていない。
- ◎ 応募演題は、JSRTの研究倫理規程ガイダンスにおいて定義される技術研究に該当する。また、観察者実験（視覚評価）が本研究に含まれるが、実験データを利用し研究発表を行うことに関して、事前に観察者全員に説明し、書面にて同意を得ている。さらに、発表に際しては観察者の個人名が特定できないように配慮する予定である。
- ◎ 動物実験なので、施設の動物実験規則に基づき実施した。





◎ その他：(自由記載, 全角50文字以内)

**「多重発表に関する質問」(必須)**

JSRTの研究倫理規程では、「本学会が発行する印刷物および電子出版物について、既発表の論文、または他の学術雑誌に投稿中の論文と本質的に同じ論文を投稿する行為」を多重投稿と定義し、禁止されています。投稿された論文と同一の著者または少なくとも1名の著者が同じで、内容が同一または極めて類似した内容の論文が既に発表されている場合には、本質的に同じ論文と見なします。そして、多重投稿同様に、既発表の論文または他学術大会での既発表を、JCRTM2024へ演題応募する場合も多重発表と見なします。ただし、特例として発表に限り、多重発表と見なされる場合であっても有益な情報が含まれている等、審査において認められる場合は、その事実を演題応募時および発表時に申告した場合においては、許容される多重発表として取り扱います。なお、JCRTM2024は重複発表を推奨してはならず、安易な重複発表は業績の水増しになることに留意してください。

以上の点を留意の上、以下に示す多重発表の有無についてお答えください。

◎ 応募演題は、上記の多重発表に該当しないことを確認して応募します。

◎ 応募演題は、上記の多重発表に該当しますが、既発表の種別について以下に申請の上、応募します。

A. 既発表の種別 (複数選択可)：

論文 学会発表 (本学会) 学会発表 (他学会)

B. 既発表のタイトル、雑誌名・学会名、発表年 [論文の場合は、巻、号、頁等]

(自由記載)

**「利益相反の申告について」(必須)：**

発表する研究に関連して、企業等からの補助や援助を受けている場合、または、応募演題に関係する企業の被雇用者が共同研究者に含まれる場合は、その事実を開示する義務があります。演題応募時は利益相反の有無に関する質問に必ずお答えください。詳細は、JSRTの研究倫理規程ガイダンスをご覧ください。

(<http://www.jsrt.or.jp/data/about/regulations/>)

**本発表の内容に関連する利益相反事項は**

◎ あります。

◎ ありません。

研究者は、「厚生労働科学研究における利益相反 (Conflict of Interest: COI) の管理に関する指針」および「日本医学会COI管理ガイドライン2022」に準拠し、研究の公正性、信頼性を確保するために、利害関係が想定される企業等との関わり (利益相反) について適正に対応する必要があります。利益相反の公開方法は、発表スライドの2枚目 (1枚目はタイトル、施設名等) にスライドを挿入することとします。

後日、サンプルスライドを大会ホームページからダウンロードできるように準備します。また、研究助成金などの公開的機関 (科研費等) や各種の研究助成金 (金額は問いません) などは、利益相反の申告事項には含まれませんが、助成がある場合には、発表時に公開することを推奨します。


6-8 利益相反 (Conflict of Interest) の有無の公開について

発表する研究に関連して企業等からの補助や援助を受けている場合、または、応募演題に関係する企業の被雇用者が共同研究者に含まれる場合は、その事実を開示する義務があります。演題応募時は利益相反に関する質問に必ずお答えください。詳細は日本放射線技術学会の研究倫理規程ガイダンスでご確認ください。また研究者は、「厚生労働科学研究における利益相反 (Conflict of Interest: COI) の管理に関する指針」および「日本医学会COI管理ガイドライン2022」に則り、研究の公正性、信頼性を確保しなくてはなりません。1枚目のタイトルスライドに続く、2枚目のスライドには当該研究での利益相反について開示してください。



**日本放射線医療技術学会大会COI開示**  
○○大学○○学部：○○○○（筆頭著者氏名）


**演題発表に関連し、  
開示すべきCOI関係にある企業等は  
✓ありません。**



**日本放射線医療技術学会大会COI開示**  
○○大学○○学部：○○○○（筆頭著者氏名）

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業等として、

① 顧問：	なし	*ありの場合は企業名等、なしの場合は「なし」と記載
② 株保有・利益：	なし	
③ 特許権使用料：	RRR薬品工業	
④ 講演料：	SSS製薬、TTT薬品	
⑤ 原稿料：	なし	
⑥ 受託研究/共同研究費：	VVV製薬	
⑦ 奨学金：	XXX製薬	
⑧ 寄附講座所属：	なし	
⑨ 贈答品などの報酬：	なし	
⑩ 個人的な利害関係：	なし	



**【COI開示の例】** ※利益相反のサンプルスライドは大会HPから入手可能です。

6-9 研究助成金などの公開について

すでに公開されている公的機関からの研究助成金（科学研究費助成事業等）や各種の研究助成金等は、必ずしも利益相反事項として公開しなければならない事項ではありませんが、本学会は助成を受けた研究のすべてを公開することを推奨しています。

6-10 演題審査

以下に該当する抄録は不採択の対象となります。

- 1) 研究倫理規程に反する場合
- 2) 抄録に【目的】、【方法】、【結果】の見出しと内容が含まれていない場合
- 3) 抄録の内容を審査員が解読できない場合
- 4) 新規性が極めて低い場合
- 5) 多重発表と見なされる場合で、かつ多重発表であることの申告がない場合、もしくは申告があっても有益な情報が含まれていないと判断する場合

6-11 登録方法

大会ホームページの「演題登録ボタン」より演題登録システムにアクセスしてください。

※演題を登録される方は、事前に必ず、「JART情報システム」または「JSRT会員システムRacNe」にログインして所属、連絡先、メールアドレス等の必要事項を登録・確認してください。非会員の方も「JSRT会員システムRacNe」の「学会に入会せずにサイトを利用したい方」を選択の上、システムのユーザ登録をお願いします。

演題登録システムは、「JART情報システム」または「JSRT会員システムRacNe」を参照し演題発表者の氏名、所属、連絡先住所、メールアドレス等を確認しています。

- 1) 演題名（タイトル）：日本語52文字以内、英語32ワード以内
- 2) 抄録本文（「目的」以降）：800文字以内
- 3) 新規性の説明：300文字以内
- 4) 共同研究者の登録：7名以内（発表者を除く）
- 5) 副題を使用する場合は主題の後に半角コロンと半角スペースを入力してください。また、英語タイトルはセンテンスケース\*で入力してください。  
\*文の先頭、固有名詞の先頭、略語のみをキャピタライズ（大文字に）する。サブタイトルは半角コロン「:」と半角スペースを追加してセンテンスケースで入力する。  
例) 「Experimental design and data analysis in ROC studies: Lessons learned from reports in radiology from 1997 to 2006」
- 6) 所属が複数ある場合には最大8施設まで選択できます。
- 7) 発表形式には口述発表とモニタ発表がありますが、応募時に希望は受け付けていません。
- 8) 詳細区分の選択は別表1～3を参照してください。
- 9) JIS第1、第2水準に対応していない文字は使用できません。  
例) 丸数字、ローマ数字、半角カタカナ、JIS規格に対応していない飾り文字等
- 10) 上付き文字は、文字の前後に<SUP>と</SUP>を入力してください。下付き文字は、文字の前後に<SUB>と</SUB>を入力してください。また、核種の質量数は、<sup>99m</sup>Tc、またはTc-



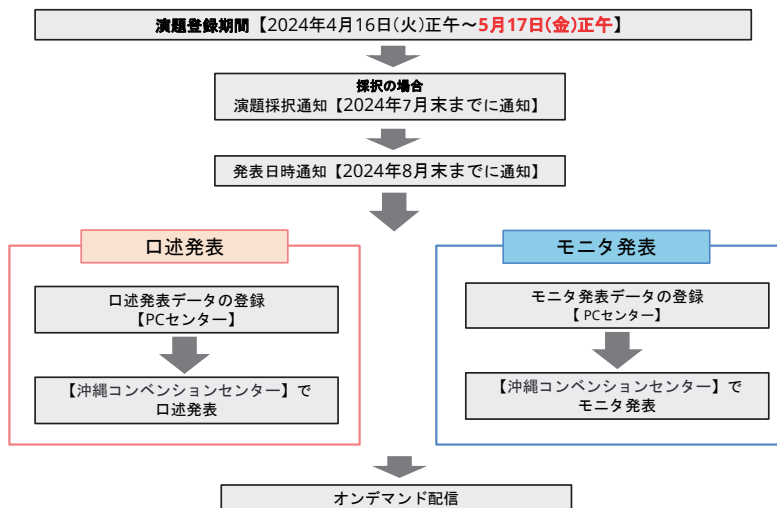
99mと入力してください。

- 11) 句読点はカンマ「,」とピリオド「.」を使用してください。
- 12) 演題登録用システムは、Firefox、Google Chrome、Internet Explorer、Microsoft Edge、Safariの最新バージョンで動作を確認しています。
- 13) 募集期間内であれば登録した演題を修正することができます。修正には初回登録時に発行される演題登録番号とパスワードの入力が必要です。なお、演題登録番号とパスワードのお問い合わせには対応しかねます。
- 14) 登録ボタンを押してから確認画面に遷移するまでに時間を要します。遷移中での登録ボタンの複数回クリックは不具合の原因となりますので、登録ボタンのクリックは1度限りとしてください。
- 15) 入力した氏名、所属、タイトル、抄録等はそのまま予稿集の原稿として取り扱われます。登録前に十分に確認してください。
- 16) 演題受領書は初回登録時に加え、修正時に電子メールで送信されます。万が一、演題受領書が届かない場合は入力したメールアドレスが正しいことを確認してください。メールアドレスの登録に関するお問い合わせは運営事務局にて賜ります(jcrtm2024@linkage-okinawa.co.jp)。なお、登録するメールアドレスは、応募者(発表者)が「JART情報システム」または「JSRT会員システムRacNe」に登録している個人のメールアドレスを入力してください。
- 17) 以下の演題登録に関する付帯事項を確認ください。
  - ・タイトルに会社名や商品/商標名を使用することはできません。
  - ・一般的でない略語は使用せず、正式名称もしくは日本語名を使用してください。用語は日本放射線技術学会用語集で確認してください。(https://www.jsrt.or.jp/jsrt-term/)
  - ・第1報、第2報、その1、その2などの表現は使用せず、内容に合わせた主題、副題としてください。
  - ・核種の質量数は、 $\text{<sup>99m</sup>Tc}$ 、または $\text{Tc-99m}$ のいずれかの表記としてください。
  - ・不適切な用語を使用している場合には、合同プログラム委員会の判断で予告なく変更することがあります。
  - ・抄録本文および新規性の説明には、所属施設や部署等の発表者、共同研究者の特定につながる文言を入力しないでください。
  - ・演題募集期間外に登録内容を変更することはできません。

6-12 演題の採否、演題区分、発表形式区分、発表日時、大会プログラムについて

- 1) 応募演題の採否、演題区分、発表形式区分、発表日時の決定等、プログラムにおけるすべての判断は、大会長に一任されます。
- 2) 演題採否通知書は合同プログラム委員会から2024年7月下旬に電子メール（オンライン登録に使用したアドレス）にて通知します。
- 3) 演題登録期間の終了後は、演題名、共同研究者などの一切について変更を行うことはできません。大会プログラム等の詳細は2024年10月中旬までに大会ホームページに掲載します。また、JARTの会員にはプログラム掲載号を送付し、JSRTの会員にはプログラムが掲載されたオンラインジャーナルを案内します。

【演題の応募から発表までの流れ】







6-13 特許法第30条について

日本放射線技術学会は特許法第30条に関わる指定学術団体です。詳細は特許庁ホームページをご覧ください。

6-14 航空券・ホテルの予約について

学会期間中は秋の観光シーズンで那覇市内でもイベントが開催される予定です。航空券や宿泊施設等の確保が難しい可能性があります。参加を予定される方は、早めの予約をお願いします。

6-15 シャトルバスの運行について

学会期間中は無料シャトルバス（那覇県庁前バスターミナル付近から会場の区間）を運行します。詳細は大会ホームページにてご確認ください。

(<https://www.linkage-okinawa.co.jp/jcrtm2024/index.html>)

【別表1a】研究の詳細区分1（診断分野）

大区分	中区分	小区分	詳細	区分コード
診断分野	X線	撮影技術・画像評価	一般撮影、乳腺撮影、動態撮影等の単純X線領域における撮影条件、ポジショニング、画像評価についての臨床技術全般の検証や、FPDやCR等の画像処理や解析評価、システム構築にかかわる研究発表を対象とします。	1Aa
		画像工学	視覚評価・物理評価を用いた画質評価、新たなデバイス等の医用画像形成、画質評価法の開発、画像処理および解析に伴う評価方法の検討、機械学習・深層学習の開発および臨床評価等の技術や手法の向上。	1Ab
		その他	上記に該当しないもの。ただし、医療情報、医療安全、放射線防護、放射線計測に直結する演題については、大区分の「基礎技術・他」から登録してください。	1Ax
	透視・IVR	撮影技術・画像評価	X線透視装置やAngio-CTを含む血管撮影装置等を用いる検査、および血管・非血管IVRの臨床に関する撮影技術、画像評価・アーチファクト評価、線量の最適化、システム開発等に関する研究演題。 ex) アプリケーションの評価、画質改善、血管計測、各種アンケート調査、など	1Ba
		画像工学	視覚評価・物理評価を用いた画質評価、新たなデバイス等の医用画像形成、画質評価法の開発、画像処理および解析に伴う評価方法の検討、機械学習・深層学習の開発および臨床評価等の技術や手法の向上。	1Bb
		その他	上記に該当しないもの。ただし、医療情報、医療安全、放射線防護、放射線計測に直結する演題については、大区分の「基礎技術・他」から登録してください。	1Bx
	CT	撮影技術・画像評価	基礎的・臨床的データを用いた撮像パラメータ評価、装置やソフトウェアの画像評価、線量の最適化に関する研究、臨床タスク等を想定した画像評価・アーチファクト評価を含む。 ex) ~における撮像条件の最適化 ~再構成法による画質改善の評価	1Ca
		画像工学	画像処理および解析に伴う新たな評価方法の検討、CT画像等を用いた機械学習・深層学習の開発および臨床評価等の技術や手法の向上。	1Cb
		その他	上記に該当しないもの。ただし、医療情報、医療安全、放射線防護、放射線計測に直結する演題については、大区分の「基礎技術・他」から登録してください。	1Cx
	MR	撮像技術・画像評価	基礎的・臨床的データを用いたシーケンスやMR撮像パラメータ評価、ファントムの研究やその評価、MR装置やソフトウェアの画像評価、アーチファクトに関する研究、MRI安全性に関する研究。 ex) ~における撮像条件の最適化 ~シーケンスを用いたアーチファクト低減に関する研究	1Da
		画像工学	画像処理および解析に伴う新たな評価方法の検討、MRI画像等を用いた機械学習・深層学習の開発および臨床評価等の技術や手法の向上。	1Db
		その他	上記に該当しないもの。ただし、医療情報、医療安全、放射線防護、放射線計測に直結する演題については、大区分の「基礎技術・他」から登録してください。	1Dx
超音波・骨塩	-	超音波の走査技術、機能計測、評価方法などの開発、新技術や疾患の新たな知見に関するエビデンス構築の検討。 骨塩（骨密度）に関する撮影技術、解析・評価方法（骨強度・骨質など）のエビデンス構築の検討、骨塩（骨密度）に関連する因子（骨棘形成、椎間板変性など）の検討。	1En	



【別表1b】研究の詳細区分1（核医学分野）

大区分	中区分	小区分	詳細	区分コード
核医学分野	Planar/SPECT	撮像技術・画像処理	収集条件や各種補正, 画像再構成法, フィルタ処理, 定量解析法など, 撮像から画像処理に至る内容全般.	2Fh
		画像工学	画像処理および解析に伴う評価方法, 機械学習や深層学習, AIを用いた研究など画像工学技術に関する内容全般.	2Fb
		性能評価・QA/QC	装置や関連機器の性能評価, 装置や関連機器, ソフトウェア, 放射性医薬品の品質管理および品質保証に関する内容全般.	2Fc
		その他	上記に該当しないもの. ただし, 医療情報, 医療安全, 放射線防護, 放射線計測に直結する演題については, 大区分の「基礎技術・他」から登録してください.	2Fx
	PET	撮像技術・画像処理	収集条件や各種補正, 画像再構成法, フィルタ処理, 定量解析法など, 撮像から画像処理に至る内容全般.	2Gh
		画像工学	画像処理および解析に伴う評価方法, 機械学習や深層学習, AIを用いた研究など画像工学技術に関する内容全般.	2Gb
		性能評価・QA/QC	装置や関連機器の性能評価, 装置や関連機器, ソフトウェア, 放射性医薬品の品質管理および品質保証に関する内容全般.	2Gc
		その他	上記に該当しないもの. ただし, 医療情報, 医療安全, 放射線防護, 放射線計測に直結する演題については, 大区分の「基礎技術・他」から登録してください.	2Gx
核医学治療	—	ドシメトリや治療効果判定, セラノスティクス, 撮像技術, 画像工学など核医学治療に関する内容全般.	2Hn	

【別表1c】研究の詳細区分1（治療分野）

大区分	中区分	小区分	詳細	区分コード
治療分野	光子線・電子線治療	照射技術	治療装置, 照射方法・技術, 患者固定具, 患者位置精度等に関する開発および評価(基礎, 臨床).	3Jd
		治療計画	治療計画に関連した計画法, 計画の評価法, 新しい治療計画プログラムやアルゴリズム等に関する開発および評価, 治療におけるCT, MRI, 超音波装置等の画像や新しいデバイス等の開発および評価.	3Je
		線量評価	治療に関連した基礎的または臨床的な線量評価, 線量計測法, 線量評価法や線量計測に関係するデバイスの開発および評価.	3Jf
		QA・QC	治療装置, 治療計画装置, 治療に用いられるCTやMRI等に関する品質管理・品質保証, 治療に関連した種々の機器および器具の品質管理・品質保証.	3Jg
		その他	上記に該当しないもの. ただし, 医療情報, 医療安全, 放射線防護, 放射線計測に直結する演題については, 大区分の「基礎技術・他」から登録してください.	3Jx
		粒子線治療	照射技術	治療装置, 照射方法・技術, 患者固定具, 患者位置精度等に関する開発および評価(基礎, 臨床), 粒子加速システム等の開発及び評価.
	治療計画		治療計画に関連した計画法, 計画の評価法, 新しい治療計画プログラムやアルゴリズム等に関する開発および評価, 治療におけるCT, MRI, 超音波装置等の画像や新しいデバイス等の開発および評価.	3Ke
	線量評価		治療に関連した基礎的または臨床的な線量評価, 線量計測法, 線量評価法や線量計測に関係するデバイスの開発および評価.	3Kf
	QA・QC		治療装置, 治療計画装置, 治療に用いられるCTやMRI等に関する品質管理・品質保証, 治療に関連した種々の機器および器具の品質管理・品質保証.	3Kg
	その他		上記に該当しないもの. ただし, 医療情報, 医療安全, 放射線防護, 放射線計測に直結する演題については, 大区分の「基礎技術・他」から登録してください.	3Kx
	小線源治療		照射技術	治療装置, 照射方法・技術, 照射精度等に関する開発および評価(基礎, 臨床).
		治療計画	治療計画に関連した計画法, 計画の評価法, 新しい治療計画プログラムやアルゴリズム等に関する開発および評価, 治療におけるCT, MRI, 超音波装置等の画像や新しいデバイス等の開発および評価.	3Le
		線量評価	治療に関連した基礎的または臨床的な線量評価, 線量計測法, 線量評価法や線量計測に関係するデバイスの開発および評価.	3Lf
		QA・QC	治療装置, 治療計画装置, 治療に用いられるCTやMRI等に関する品質管理・品質保証, 治療に関連した種々の機器および器具の品質管理・品質保証, 小線源治療に用いられる線源の管理.	3Lg
	その他	上記に該当しないもの. ただし, 医療情報, 医療安全, 放射線防護, 放射線計測に直結する演題については, 大区分の「基礎技術・他」から登録してください.	3Lx	



【別表1d】研究の詳細区分1（基礎技術・他）

大区分	中区分	小区分	詳細	区分コード
基礎技術・他	医療情報	—	医療情報システム構築・運用に関する研究をはじめ、情報を用いた業務分析や医療経営・経済、深層学習、自然言語処理に関する研究など、医療情報の観点で議論する研究演題 ex) 情報・線量管理システムの構築・運用、JJ1017コード/DICOM等の標準規格を用いた研究、業務の効率性評価に関する研究、テキストマイニングに関する研究、大規模言語モデルの評価、など	4Mn
	医療安全	—	モダリティに関わらず、医療安全に関する演題はこの区分に登録してください。	4Nn
	放射線防護	—	放射線防護および放射線安全管理を主とした研究演題 ex) 術者・患者・介助者の被ばく線量、防護具・防護手法に関する研究、シミュレーションによる被ばく線量評価、線量管理システム、放射線防護教育、被ばく線量調査研究、など 臨床技術を主とする場合は、該当するモダリティの小区分「その他」を選択してください。	4On
	放射線計測	—	放射線計測に関する新たな計測法や技術開発、新型の放射線・放射能測定器や関連機器に関する研究、既存の計測方法や技術の改良や最適化に関する研究、計測精度と信頼性の評価と検証、被ばく線量測定方法とその分析に関する研究、など 臨床技術を主とする場合は、該当するモダリティの小区分「その他」を選択してください。	4Pn
	教育	—	モダリティに関わらず、卒前（専門学校・学部・大学院）、卒後（生涯教育）、職員研修に関する演題はこの区分に登録してください。	4Qn
	前臨床	—	細胞実験、動物実験、臨床適応前の装置開発等、シーズ的な研究に関してはこの区分に登録してください。	4Rn
	他	—	上記に該当しないもの、また、全区分を確認し、どの区分に登録して良いか判断できない場合は、ひとまず、この区分に登録してください。	4Sn

04

【別表2】研究の詳細区分2

項目
1 脳脊髄
2 頭頸部（甲状腺・副甲状腺含む）
3 乳腺
4 呼吸器（縦隔・肺血管含む）
5 心大血管
6 末梢血管
7 リンパ
8 肝胆膵脾
9 消化管
10 泌尿器（後腹膜腔含む）
11 骨盤臓器
12 骨軟部組織（脊椎含む）
13 全身
14 小児
15 その他
16 なし

【別表3a】報告の詳細区分（基礎）

大区分	小区分	詳細	区分コード
1. 医療基礎	1 医療社会倫理	医療技術の進展に伴って生じる臨床上的問題、インフォームドコンセント、接遇（患者とのコミュニケーション・接遇、五感の不自由な患者への対応、セクハラ防止）、AIなど	1-1
	2 チーム医療	チーム医療 への取り組み（実践例）、がん医療	1-2
	3 カウンセリング	放射線カウンセリング学の研究、調査教育	1-3
	4 その他	どの区分にも該当しない演題	1-4
2. 放射線管理	1 放射線被ばく	医療被ばくやその低減、従事者などの被ばくやその低減	2-1
	2 被ばく管理	放射線管理、管理用装置機器	2-2
	3 放射線計測・測定	計測技術など	2-3
	4 その他	どの区分にも該当しない演題	2-4



3. 機器管理	1 機器管理, 保守管理	機器管理, 保守管理	3-1
	2 医療機器安全管理責任者講習	医療機器安全管理責任者講習に関する実践	3-2
	3 その他	どの区分にも該当しない演題	3-3
4. 医療安全	1 医療安全	医療安全, インシデント・アクシデント	4-1
	2 リスクマネジメント	リスクマネジメント	4-2
	3 教育・研修	新人教育研修, 中堅教育研修	4-3
	4 その他	どの区分にも該当しない演題	4-4
5. 医療画像	1 読影の補助	読影の補助実践, STAT画像	5-1
	2 医療画像精度管理	感光材料, 信号検出能, 画像表示装置, 画像評価	5-2
	3 医療画像情報管理	医療情報システム, 医療データ保存・管理, 画像圧縮技術, 画像通信	5-3
	4 その他	どの区分にも該当しない演題	5-4
6. 教育	1 人材育成	中高生への進学指導など地域での取り組み, オープンキャンパスなど教育機関での取り組み	6-1
	2 技師教育	診療放射線技師養成機関での教育, 新人・中堅教育・管理職教育, 機器関連・医療情報メーカーの診療放射線技師の教育など	6-2
	3 OJT (On-the-Job Training)	施設内教育・訓練	6-3
	4 その他	どの区分にも該当しない演題	6-4

【別表3b】報告の詳細区分(臨床1)

大区分	小区分	詳細	区分コード
7. X線撮影	1 画像評価	MTF, NPS, 画像処理技術	7-1
	2 臨床応用	撮影技術, 臨床評価	7-2
	3 造影	造影手法, 効果, 副作用	7-3
	4 被ばく・放射線計測	DRL など	7-4
	5 装置・関連器具	補助具, 固定具など	7-5
	6 その他	どの区分にも該当しない演題	7-6
8. X線CT検査	1 画像評価	MTF, NPS, 画像処理技術	8-1
	2 臨床応用	撮影技術, 臨床評価	8-2
	3 造影	造影手法, 効果, 副作用	8-3
	4 被ばく・放射線計測	CT-AEC, CTDI, DRL	8-4
	5 装置・関連器具	Area detector, Dual energy CT, 固定具	8-5
	6 その他	どの区分にも該当しない演題	8-6
9. MRI検査	1 画像・臨床	撮像技術, 臨床技術	9-1
	2 性能評価	性能評価, アーチファクト	9-2
	3 機能描出・MRS	Diffusion, Perfusion, fMRI, ASL, MRS	9-3
	4 血管関連	MRA, MRV, ブラークイメージ	9-4
	5 薬剤関連	造影剤, その他薬剤	9-5
	6 装置・器具関連	コイル, シミング, 装置開発, 関連器具	9-6
	7 安全・保守管理	吸引, 発熱, 神経刺激, 問診	9-7
	8 その他	どの区分にも該当しない演題	9-8
10. 血管撮影	1 撮影技術	撮影方法・撮影プログラム	10-1
	2 装置管理	始業点検, メンテナンス	10-2
	3 画像評価	画像処理技術	10-3
	4 被ばく管理	システム	10-4
	5 読影の補助	技師による読影補助, 遠隔読影システム	10-5
	6 安全管理	教育, マニュアル	10-6
	7 臨床応用	臨床評価	10-7
	8 その他	どの区分にも該当しない演題	10-8



【別表3c】報告の詳細区分（臨床2，疾病，その他）

大区分	小区分	詳細	区分コード
11. 消化管撮影	1 物理特性	物理評価、画像処理技術	11-1
	2 精度管理	機器、システム、被ばく	11-2
	3 撮影技術	撮影技術、手法	11-3
	4 臨床応用	症例、ヘリコバクターピロリ、ABC検診、内視鏡	11-4
	5 その他	どの区分にも該当しない演題	11-5
12. 超音波検査	1 腹部領域	肝臓、胆嚢、膵臓、腎臓、脾臓、膀胱、消化管、肝造影検査	12-1
	2 体表領域	甲状腺、乳腺、乳腺造影検査、表在、整形	12-2
	3 循環器・血管領域	心臓、頸動脈、上下肢動静脈	12-3
	4 その他	どの区分にも該当しない演題	12-4
13. 核医学	1 SPECT	脳、心臓など	13-1
	2 PET	臨床、その他	13-2
	3 一般	核医学検査総論、機器の精度管理など	13-3
	4 その他	どの区分にも該当しない演題	13-4
14. 放射線治療	1 外部照射	放射線治療技術、X線、電子線、シェル・固定具など技術評価	14-1
	2 IMRT	IMRT、定位放射線治療	14-2
	3 小線源治療	RALS、組織内照射、腔内照射、モールド照射	14-3
	4 治療計画	品質保証、品質管理、計算アルゴリズム	14-4
	5 保守管理	精度管理、精度検証	14-5
	6 その他	どの区分にも該当しない演題	14-6
15. 乳房撮影 (マンモグラフィー)	1 物理特性	物理評価、画像処理技術	15-1
	2 精度管理	機器、システム、被ばく	15-2
	3 臨床応用	撮影技術、臨床評価	15-3
	4 その他	どの区分にも該当しない演題	15-4
16. 骨密度検査	1 画像・臨床	撮像技術、臨床技術	16-1
	2 精度管理	機器、システム、被ばく	16-2
	3 その他	どの区分にも該当しない演題	16-3
17. 疾病・臓器	1 頭頸部		17-1
	2 胸部		17-2
	3 腹部	超音波、一般撮影、MRI、CTなど複合のモダリティの画像から有用であった臨床についての発表	17-3
	4 骨・軟部領域		17-4
	5 循環器		17-5
	6 その他	上記の区分に該当しない演題	17-6
18. その他	1 その他	上記いずれのセッションにも含まれないと思われる診療放射線技師に関する演題	18-1

問合先（オンライン登録・参加登録等のお問い合わせ）

運営事務局 株式会社リンクージ沖縄内  
〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜2-8-8-2F  
TEL：050-3666-2460/FAX：098-890-1921  
E-mail：jcrtm2024@linkage-okinawa.co.jp